MDHCだより

NO. 69

H27. 1. 28

三河歯科衛生専門学校

それだけでいいの？歯周病治療

医）英成会　神谷ファミリー歯科
院長　　神谷　英道

12月19日終業式時に上記タイトルにて、全校学生に講演させて頂きました。

私たちは毎日、歯周病治療を行っています。しかし、中等度以上の歯周病患者さんの場合、T.B.I・ブラッシング指導・歯石除去をしたあと、定期的にメインテナンスを繰り返しているだけでは、残念ながら歯周病が進行していってしまうことがあります。メインテナンスに通っているのに、どうして歯周病が進行してしまうのでしょう？そこで分かっているようでいて、意外と分かっていない素朴な疑問を取り上げました。

①歯石はなぜ取らないといけないの？
②歯石を取れば…歯周病は治るの？ポケットは減るの？歯槽骨は再生するの？
③深いポケットのままだと何がいけないの？
④メインテナンスさえしていれば歯周病は進行しないの？

患者さんにこう聞かれたら、みなさんは何と答えますか？答えることができますか？

私たちにとって、このようなことは初歩的で当たり前過ぎて、あえて疑問には思わないことでしょう。しかし患者さんは、このような当たり前のことに疑問をもち、しっかりと説明して欲しいと思っています。

この疑問が解決されないまま、治療が進められてしまうと、私たちと患者さんとの間で、治療に向き合う姿勢に温度差が生じるのです。

これらの当たり前のことをあえて考え、患者さんに説明し、納得してもらうことで、初めて患者さんと私たちが同じ方向を向いて、二人三脚の歯周病治療をスタートすることができるのです。

1　臨床実習から

1）臨床実習1期まとめ

１２月１８日に臨床実習１期まとめ・引き継ぎを行いました。『１期まとめ』では、わかりやすく記録が出来ている実習帳の紹介や１期の自己評価を行い、学んだこと、反省点を振り返り今後の課題を見つけました。自己評価項目とまとめは次の通りです。

１.『当初の目的(各自の到達目標)は達成されましたか』

予想以上2.5%、予定通り46.2%、あと少し51.3%、できなかった0%で、半数の学生は自分で立てた目標達成に少し届かなかったと評価しています。

２.『実習中は意欲的に学習しましたか』

大変努力した27.5%、努力した62.5%、あまりしなかった0%でした。

３.『実習によって知識は確実なものとなりましたか』

大いに身についた35.0%、身についた65.0%、変化なし 0%で、教科書上での浅い知識が、現場で見たり経験したことで深まったようです。

４.『今回の実習施設で特に学べたことは何ですか』

病院では、“清潔・不潔の区別”、“さまざまな疾患や外科処置に対する知識・対応法“、“患者さんへの気配り”など。

一般歯科では、“診療の流れ”、“患者さん一人一人に合わせた対応の仕方”、“バキューム・ライティングの技術”などが多くあげられました。

“ＤＨさんの働く姿から、自分で気づき、行動に移すことの大切さを学んだ。”“すべての動作にきちんと意味があること、ＤＨとして働くことの心構えを学んだ。”といった精神面での学びがうかがえるものも多くありました。

５.『反省点をまとめましょう』

“治療の流れがなかなか覚わらず、準備でオロオロしてしまった。”、“予期せぬことが起こるとパニックになりがちであった。”“もっと積極的に声を出していけばよかった。”などで、積極性や復習の大切さをあげる反省が多かったです。

６.『次回の目標を立てましょう』

“治療の流れを理解し、スムーズなアシスタントができる。“、“先を読んだ行動ができる。”、“患者さんを第一に考え、不安を取り除けるような声掛けができる。”など１期の反省を生かした内容となっています。

2）臨床実習報告会

毎週木曜日に“実習報告会”を実施しています。指導者の皆様方にはお忙しい中、何かとご協力いただきましてありがとうございました。１期臨床実習で学んだことを発表し、他の学生と学びを共有することで知識の幅を広げ、今後の実習に生かしていきたいと思います。

2　主な行事予定

- 臨床実習２期　1/13(火)～3/17（火）
- 臨床実習２期まとめ、引継ぎ 3/18（水）
- 国家試験　3/ 1(日)
- 卒業式　3/ 5(木)
- 終業式　3/19(木)
- 春休み　3/20(金)～4/2(木)